

令和6年 児童養護施設訪問結果について

【 米沢市立 興望館 】

日 時：令和6年10月16日(水)

場 所：山形県米沢市「米沢市立 興望館」10:30～11:30

訪問者：東北遊技機商業協同組合 社会貢献委員会 杉本委員長・穴戸委員

今回、山形県鶴岡市での海岸清掃に先立ち、米沢市立興望館へ組合員有志拠出の募金箱から購入した1万円の図書カードを持参して訪問させて頂きました。

当日は、館長から、施設の現状、問題点などの話を伺ってきました。

現在、施設には、2歳児から高校生まで定員30名に対し29名の生徒が入居されていて、ほとんどの児童・生徒が、親によるDV被害、ネグレクト（無視・無関心）とのことです。国の方針などで、里親制度も勧めているようで、大半が戻ってきてしまうのが現状とのことでした。また、施設職員の方々も懸命に支えているようですが、精神的なフォローも大切で、非常に大変な仕事をされていると感じました。地域の方々にも助けられており、寄付金なども非常に支えになっているようです。寄付金の使い道については、クリスマス会、実家に帰れない子のお年玉など機微な経費に使わせて頂きたいとのことでした。できる限りの寄付貢献活動の継続を考えさせられる1日でした。

なお、東北遊商の児童養護施設への寄付貢献活動は17年間継続しており、昨年度は、東北34施設へ各5万円の寄付を実施しております。



【 七窪思恩園 】

日 時：令和6年10月16日(水)

場 所：山形県鶴岡市「七窪思恩園」13:00～14:00

訪問者：東北遊技機商業協同組合 社会貢献委員会 佐々木委員・佐々木委員

七窪思恩園は、家庭での養育が難しい児童の保護・育成を行う児童養護施設で、当日は、園長からお話を伺いました。親・子供の悩み相談を受け付けてくれる「児童家庭支援センターシオン」も運営しており、子どもたちが安全・安心して生活できる環境を提供して教育や生活支援、心理的なケアにも力を入れているそうです。

現在は約51名の児童が生活しており、年齢層は幼児から20歳までと幅広い子供たちへの学業のサポートや、将来の自立に向けた職業訓練も行っているようで、地域社会との連携強化が今後の課題とのことでした。

校庭、体育館もあるため、スポーツ活動や創作活動に積極的に取り組んでいるようで、今回は図書カード1万円を持参しましたが、次回は、学習教材やスポーツ用品を購入するための商品券等のほうが良いのかなとも思いました。

また、施設の子供たちと交流したことが無いので、機会があれば子供たちと交流して明るい笑顔を見てみたいです。今後も東北遊商社会貢献委員会としてボランティア活動を考え実行していきたいと思いました。

